

ルネオの諸島であるが、これ等は政治上、軍事上實に樞要の地である。何故なら印度洋から太平洋に出る、閩門を扼して歐洲との交通は必ず此處を通らねばならぬ。

實際に此處を固く防備するものがあれば寧ろ英國のシンガポールの防備は意味がないものとなるであらう。しかし現在は蘭領であつて、此等の防備は重要視されず、唯産業は近年急激に發展し、軍事重要資源として石油とゴムとコブラを多量に産出してゐる。

四、蘭領印度の經濟的地位

蘭領印度を形成する諸島は左の通りである。

(一) 大ゾンド諸島——スマトラ、ジャバ、ボルネオ及びセレベス等の諸島

(二) 小ゾンド諸島——バリ、ロムボタ、スムバワ、スムバ、セイロア群島、ウニタール、フロレス及び
マモア(東部のポルトガル領を除く)等の諸島

(三) モロツロ諸島

(四) ユーギニヤの西半

之等の總面積は二〇〇萬方呎で、日本面積の五倍大、印度支那の面積の二、五倍大、アメリカ合衆國の四分の一である。

人口は一九三五年に於て六、〇〇〇萬以上で、大部分は馬來人とバプアス人等の土人で、之等

の七五%がジャバ、スマトラの兩島に稠集してゐる。

尙この島の經濟的地位は東南アジアの最も富める部分にして現在ではオランダ經濟に重大役割を果してゐるのみならず、世界經濟の上にも大きな役目を演じてゐる。

此處より産出する錫、ゴム、石油、コブラ、龍舌蘭、茶、椰子、油、コーヒー等は重要なものである。

○第一、石油の埋藏量は凡そ三億一五〇〇萬バレル(一バレルは一五九リットル)で最近數年間の石油産額は年平均約六〇〇萬噸であるが一九三八年には七四〇萬噸の採油があり、世界産油に於て第五位を占めてゐる。

○第二、錫の産出は世界第二位にて一九三七年の産出高は三九八〇萬噸であつた。

○第三、石炭の埋藏量は七億八〇〇〇萬噸にして、年産額は一九三八年に於て一三八萬噸であつた。

○第四、ゴムの産出は世界第二位にて一九三八年の産出高は三〇二、四〇〇萬噸であつた。

尙その外にキニーネ、胡椒、その他の特産物は世界の獨占國たる感がある。

更に同島の經濟開發はオランダが侵略してより、十七世紀の初めより一七九八年まで印度諸島會社によりこれを經營して來たが、オランダ國力の衰へるに従つて英米日の資本は侵入、經濟資源の獲得競争を演ずるやうになつたのである。

理由が在るであらうか。それには印度人自身の不統一によると云ふ人もあるが、決してそれ許りであるまい。其處には世界各國にはさう見せかけて、蔭には彼等をかく操つて、彼等を搾取してゐる英國の老練政策を視認してはならぬ。印度民族約四億がこの英國の羈絆を脱することも出来ず印度教をその主體とする國民會議黨のゴカレ死後猛烈なるガンヂーの獨立運動も空しく、今日に及んでゐる。

しかし、一九三〇年十一月第一次英印圓卓會議に於いて、絶へず國民會議黨と反對態度にあつた印度回教徒の、その代表ムハマット・マリイが「神の支配する世界に於いては吾々は飽くまでも回教徒であり回教徒以外の何者でもあり得ない。然し事印度に關する限り吾々は飽くまでも印度人であり、印度人以外の何者でもあり得ない」と民族國家主義の一投石を與へたことは此處に印度獨立の曙光を燈した。以後二次三次とこの圓卓會議は続けられ憲法が制定せられ、聯邦制が實施せられたが國內六百を越える土侯諸國との權衡上の折衝恐く、第一に主權は依然として英國王にあり、且つ、その代表たる總督の權限が實質的に却つて獨裁化され、更に英領印度と共に聯邦を組織することは人口の歴史的に多い英領印度に左右されることを最も恐れた。が遂にそれは一九三九年四月一日から實施せられた。

しかし、この憲法に於いては總督の權限は實質的には絶對的權限を有し、印度の安寧秩序の確保、及び對外軍備の充實、宗教的小數民族の保護、多數土侯の權利擁護、英人に對する商業上の

差別待遇問題等治安、信教、國防、外交等について國民立法議會に對し、印度總督は否決權を有して居り、且つ必要に應じ議會の審議を中止せしめ、又非常の場合には緊急令發布の權限さへも與へられてゐるのである。そして議會組織も獨立主張派たる國民會議黨には非常に壓迫的態度を有し、最も英國に對して穩健的態度にある土侯諸國に對して最も有利なる様に組織せられてゐる。(2)

土 侯 諸 國	四 割	三 割 三 分
英 印 の 回 教 徒	一 割 九 分	二 割 二 分
他 の 英 印 少 數 教 徒	一 割 二 分	一 割 七 分
一 般 自 由 選 舉 (國民會議黨)	二 割 九 分	二 割 八 分
上院定員二六〇席		下院定員三七五席

以上の割合を以て選出されるのであつて、一般社會の支配、リーダー階級として活躍し、人口數から云つてもその過半數(六割八分)にある國民會議黨は大なる壓迫と云はなければならぬのである。以上に於いて英印間の政治的關係を記述して來たが、これは英國が極東情勢に關する唯一の飛足であり、英國の倉庫であるからである。そして國內には三億九千萬の印度人と、英國人の十六萬、英印人の十四萬、騎太人の三萬餘人あり。印度駐屯の英國正規兵六萬、印度正規兵十六萬、印度軍防備義勇兵七萬、合計約三十萬の兵力を有し、それは主に西北國境警備に當つてゐる

のである。そして産業の近年の發達は著しくその年貿易額は二十億圓近くにある。即ち日本の十三年前と同額である。それ故に完全統治が出来たならば、これは立派な獨立國としての力を有するのである。即ち、この印度に於ける解決こそ、次期の國際紛争の種ではなからうか。

六、比律賓の政治的地位

比律賓について、政治的地位を論じてみるならば、先づこの群島は有名無名の島を合はせて、約七千からの島及び岩礁から成つて居り、一萬尺以上の山も深い谷もあり、これ等の山や谷に遮ぎられて住む四十三種族の民族から成つてゐる。その中で最も發展してゐるのはタガログ族であり、現大統領ケソン氏はこの出身で、またこの種族が主に政治的實權を握つて居り、尙各土民間に皆な固有の言語をもつてゐるが、尙最も一般的に通用するのはなんと云つてもスペイン語で次に英語である。しかし現在議會中でも英語を話し得るのは議員中の三割であるとの事である。其處で國語統一の爲にこのタガログ語が國語檢定として採用され、その普及に努められ、この種族はマニラを中心として住居してゐる。

次にビサヤ人があるがこの人種は中央のビサヤ群島附近に居り、此の群島中一番早く歐洲の文明に浴した人種である。丁度一五六一年マゼランが南米のマゼラン海峡を發見してモロツカス群島を目的として來たのが、間違つて、このビサヤ群島のセブ島にいたのである。それ故ビサヤ

人は悉くローマンカトリック教信者である。そして早くより歐洲文化の洗禮を受けた爲めに、商賣は上手であつて、而も如才ない。従つて國內勢力もタガログ族と殆ど同格であつて、副大統領オスメラヤ氏はこの人種の出身である。そしてこの人種が比島中最大多数の人口を占めるのである。

次に、イロカノ族はイロコ州即ちルソン島の西海岸支那海へ面する一帯に住んでゐるのである。姿はよく日本人に似て最も同化し易く、最も勤勉で、而も熱心である。比島の他の蕃人の處に移住して農民として、又は學校教員等として働いて蒙昧な蕃人を文明に導いてゐる。大統領候補として立つたが落選したアグリッパイ大僧正は、この種族の出身である。彼は人格清潔潔白、よく人を同化した。遂に大統領選挙に失敗したが、その時、彼はケソン大統領を政治的手段と、金錢によつて當選を獲得したことを非難したことはあまりにも有名な事實である。

又、イバナツグ族は臺灣に最も近いルツカ島の北部のカガヤン州に居り、色が黒くて、身體は大きく、彼等は軍人として典型的であり、兵隊又は憲兵となつて働き、また將校も彼等出身のものが大部分である。尙バンバンガ族等と云ふものもあるがこの位にして、比島の獨立を繞つてその後ルーヴェルト大統領は獨立法は一九四六年に政治的には實施されても、經濟的事項は一九四六年より十四年間延長して一九六〇年までは米國と特惠税率を存続させることを提案した。これは日本の比島進出を防遏すべく、また米國が比島から不返却なることを明らかにしたもので

これに對してケソン大統領は絶對支持する聲明を爲し、彼は獨立問題と比島の安全保障問題は不可分であるとし、最近日本の支那進出の脅威は比島獨立の態度も影響されねばならぬと云つて、更に彼は比律賓議會の開會式の演説に於いて

「比律賓の安全、繁榮及平和は『完全なる自由』よりも寧ろ合衆國と或種の政治的パートナーシップを結ぶことに依つて得られる。眞に勇氣ある者は須らく斯く公言すべきである。一九四六年七月四日になつたら比律賓共和國樹立を妨げる豫期せざる事態が起るかも知れぬ。便々としてその時を俟つよりも、もつと速かに有效な代案を求むべきである」と。彼等は米國から完全にその羈絆を脱れて、獨立することを以つて比島民族の最大使命なりとして獨立を求め、一九四六年漸くその完全獨立が認められる運命にあり乍ら、かゝる態度に變じたことは何を意味するであらうか。彼は比島人の自由意思を以つて、合衆國と政治的共同體となる事が國家保障問題を解決する所以である」と云ひ、米國依存の一本槍に傾いたのである。それに日本が大資本を投じてダバオ島に事業權を獲得し、マニラ外諸市に商業權を固めて居り、最近には滿州事變、支那事變と日本の支那大陸の進出目ざましく、獨、伊、日三國の同盟が風説せられるや、比島は英國にさへ、この保障を繼らんとする意向さへあつたのである。しかるに一方ケソン派に反對する國家社會黨の存在も又、忘れてはならぬのである。その黨首はエシリオ、アギナルド將軍及び、アレジャンドリノ將軍等で、これは親日派として、絶えず、彼は完全獨立を要求し、「比島獨立こそ吾人の最

も崇高、切實なる欲求である。吾人は何時でも獨立を受諾する。之に依つて如何なる事が起つても敢て辭するものではない」と言明し又アギナルド將軍はマニラ新聞に大亞細亞主義を擁護する長文を掲げて「日本は吾人にインスピレーションの泉を興へる。吾人は吾人の持つ、凡ての力を出してこのインスピレーションを守り、日本の進んだ跡を行進を續ける。泰西諸國は日本の進出と實力を怖れ、且つ尊敬してゐるのである。日本の積極的政策が無かつたら比律賓獨立の前途も望み難いものであらう」と、述べてゐる。又政治團體には人民戦線派もある。しかし總括して比島の太平洋上に於ける政治上の地位は若し何れに附かうとも、大した價值あるものではない、唯だ、それが軍事上の地位としては仲々重要地點にして、米國にとつては、グワム島、サモア島、ハワイ諸島を結ぶ防備線と、マニラ、グワム、サモア、パナマを結ぶ線とは米國の唯一の太平洋防備根據地であるのである。そしてマニラ港の軍備は勿論堅固であると共に、これ等は海軍、空軍の重要地點である譯である。此處に南太平洋に於ける重要な政治上の地點を説明して來たのであるが、また北太平洋の重要性も勿論論じなければならぬのである。

第二章 南太平洋諸島の経済的 価値と軍備

一、濠洲及びニュージーランド諸島の経済価値と軍備

英國の自治領として最近頗にその重要性を有して来た濠洲は重要原料供給國として、その地位がある許りでなく、その貿易を雨め其の諸種の方面に世界の主要實力的地位を得て来たのである。僅か一世紀前に英國囚人の流罪地として、未開の廣野であつたのであるが、ニュサウスウエルズに金鑛が発見せられてより、英國資本の開拓する處となり。今やクイーンランド、ニュサウスウエルズはその金の産出多く北部に石油、タンクスステン外秘金鑛の産出がある許りでなく、中央部の羊毛の産出は正に世界最大の供給國となつたのである。それ故に濠洲は軍事的な重要性よりも、遙かに資源的重要性を有するものである。我國には羊毛の一位一千八百九十九萬圓の輸出を始め小麦の一、五六二萬三千圓皮類の五〇二萬三千圓、牛脂の一四萬七千圓等合計一位六千五百二十五萬二千圓の輸出を有し、我國より、人造絹織物一六六萬七千圓を輸入し、外綿織物の一三、五二五萬圓、生絲八、一三一千圓等合計七千二百八萬圓の輸入を爲してゐるのである。尙濠洲の政治

的感情は英國の屬領たる以外何者でもなく、最も日本の南進政策を恐れてゐるものであつて、その防空演習の假裝の敵は常に日本であることは正にこれを物語つてゐる。この國には英國の正規兵も居れば、濠洲政府の正規の陸軍を有してゐる。しかし海軍はなく、英本國の統制下にあつて、英本國がこれが警備に當つてゐる。ニュージーランド諸島、ケルマデツ島及びチャサム諸島は濠洲東南にあり共に濠洲の前衛防備の如き地位にあり、この國も羊毛の産出多く、日本に羊毛四、二八二萬一千圓を輸出し、その他合計四八六三萬三千圓を輸出するに反し、我國より人造絹織物及綿織物、玩具等一九三五萬六千圓輸入してゐるのである。

二、フィヂ島の經濟資源

フィヂ島は赤道直下に於ける英國の植民地にして主なる經濟的活動は砂糖の生産と輸出、並にコブラ、バインナップルの栽培である。また近年は棉花の栽培が企てられてゐる、また附近のトシガ島も同様英國であつて、コブラ、マンナツトの産出がある。

三、ソロモン、ギルドード及びエリス諸島

ソロモン諸島は濠洲のクイーンランドの北方に位して、最初は金塊が採掘されるのであるが最近にはコスナツトを栽培し、コブラを輸出してゐる。ギルバードエリス諸島は及ソロモン島の東方

にあり。この島は主に珊瑚島の島であつて、その産物は燐礦が主要産物で、他にコブラの産出もある。そしてこの燐礦は英國燐酸委員會社の手で採掘され、最近では英人「太平洋燐酸會社」の手に移されてゐるやうである。

四、ニューカレドニア島のニッケル鑛

ニューカレドニア島は南太平洋の濠洲の東北部にあり佛領にして、この島は太平洋中最も價値あるものと云つても決して過言でなく、また世界經濟の上に重要な役割を演じてゐるのである。この島に一八七五年初めてニッケル鑛が発掘されて以來一九一〇年頃まで世界生産高の五〇%乃至七五%を占めて勢ひ世界のニッケル鑛業を支配して來たのである。しかし一八九〇年頃加奈陀にニッケル鑛が発見され、その爲めに歐洲までの運賃がそのニッケル價格の半分以上ともなるので遂にカナダに壓倒されるに至つたのである。しかし近年ニッケルの需要は増加し、カレドニア鑛業會社と米國の「國際ニッケル會社」の手によつて採掘されてゐる。

ニッケル生産高 (Short Ton 單位)

年	世界	ニューカレドニア	カナダ
一八八〇年	六〇〇	二七九	—
一八九〇年	三、〇五〇	二、一六〇	七一八

尙同島にはクロムを南め、鐵、マンガン、コバルト、アンチモニー、水銀、銅、銀、鉛、金石炭等が産出されてゐる。そして我國にも燐礦が輸出されてゐる。其の他の貿易額は我國へ輸入されるものは九四萬七千圓、我國より輸出されるものは人造絹織物、綿織物等四四萬圓許りである。

五、海峽植民地の經濟と軍事上の地位

此處に海峽植民地とはスマトラ、ジャワ、ボルネオ、セレベス、フロレス、チメル、セラムバプアの諸島を總括してのことである。そしてボルネオの北部とバプアの東半島の英領を除いては全部蘭領となつてゐるのである。近年この海峽の小島が重要視せられるやうになつたのは確かに極東情勢に大きな課題を投げたと云つてよからう。何故なら、これは極東に出る唯一の關門であるからだ、そしてこれは海軍にしる、空軍にしる、軍事上策戦には數石でなければならぬ、即ち極東に出る關門であると同時に數石であるからである。そして而も近年は此處から戰時重要資源

が多量に産出されると云ふのだから無理もない。ゴムの栽培は勿論、コブラ、珊瑚、諸種の果實を求め、金、石油、石炭、稀金屬の多量に産出されることはなんと云つても近代國家の絶對の要求である。よつて各國はこの獲得に懸命に資本を投下したのである。我國は四一五六萬六千金のゴムの輸入を求めとして石油等合計六、七七九萬六千圓を輸入し、我國より絹織物一、二三三萬九千圓、絹織物四五九萬七千圓、人造絹織物三六三萬二千圓、織製品二〇二萬六千圓、茶六七四三萬三千圓を輸出してゐるのである。しかし此處で、南洋諸島を何故に我輩が詳細に説明したるか、その理由とする處は日本の現代並びに將來の貿易を慮つての結果である。即ち我國の貿易は主に東南亞細亞、南洋諸島と近年發展し始めた近東地方がその最大市場であるからである。駄足ながら南太平洋に於ける各島の所屬、面積、人口、人種別の略表を参考に掲げる。

○英國の領有

面積 平方哩	人口	種
フイヂ島	七、〇八三	歐洲人四、九三八、フイヂ人九九、九五三 印度人八五、九八二、其他
ギルバート及エリス島	一八〇	歐人二八〇 土民三二、九九三 亞細亞人五三六
トンガ島(保護領)	二五〇	歐人四三四 土民三〇、七二四其他
ツロモン(保護領)	一一、〇〇〇	歐人四七八 土民九三、四一五 亞細亞人一七三
ビトケーン島	二	一四〇

○諸島の領有

パプア島	九〇、五四〇	二七六、二〇三	歐人一、二〇三 土民二七五、〇〇〇
ノルホーク島	一三三	一、一六一	
ニューギニア(委任統治領)	九三、〇〇〇	五〇五、七一九	英人三、三三二 土民五〇〇、〇四〇其他
ナウル(英國及北洋の共同委任統治)	八五	二、九二二	歐人一七九 土民一、六七四 支那人一、〇九二

○ニュージーランドの領有

クック島	一八〇	一二、二四六	歐人二五五 土民一一、九九一
西部サモア	一、一三〇	五四、七七八	歐人六一〇 土民五一、一三一其他

○佛蘭西の領有

ニュー、カレドニア	八、五四八	五七、一六五	歐人一七、二一五 土民二八、五〇二其他
佛領オシアニア	一、五二〇	三九、七一三	佛人五、二八〇 土民二九、一〇一其他

○英佛の共同管轄

ニューヘブリヂス	五、七〇〇	五二、七二六	土民五〇、〇〇〇其他
----------	-------	--------	------------

○合衆國の領有

グアム島	二〇六	二〇、三九一	米人六六九 土民一八、九九四其他
米領サモア	七五	一〇、〇五五	白人二二七 土民八、〇二六其他

○日本の領有

カロリンアリアナ、マーシャル諸島(委任統治)	八二九	一〇四、八三三	日本人五四、七六三 土民五〇、〇一一其他(6)
------------------------	-----	---------	-------------------------

第三章 太平洋と米國の軍備

一、比島及ハワイと米國の軍備

比島にはゴム、珈琲、砂糖、コブラ、煙草、マニラ麻を産出し、輸出してゐる。その主なる貿易港はダグバン、マニラである。この二港は極東航路の重要地位にある。又グアム島は米西戦争の結果比島と共に米國に譲渡されたもので住民はインドネシア族一萬六千餘人に見るべきものはない。しかし昨年米國は此處に太平洋艦隊の根據地として軍備を固めたことは、極東情勢に一大センセイショナルな事件であつた事は附記するまでもなく、ウエーク島、ミッドウエー島も同様米國海軍の策源地で、亞米利加航空會社の定期空路地點となつてゐるのである。(?)次に布味であるが、これは中央太平洋唯一の島として、太平洋制海權の上に重要價値を有することは言ふまでもない。こゝは火山島にして、地質學上にも有名なもので、砂糖、バインナップル、ココヒーを産出する。

○砂糖 産出額

一九二二

五四九、六〇六噸

一九二四
一九二五
一九二六
一九二七
一九二八

七〇一、四三三
七七六、〇七二
七八七、二四六
八一、三三三
八九七、三九六

○バインナップル 産出額

一九二八

四〇八〇萬弗

○ココヒー 産出額

一九二八

二三六萬弗

日本との輸出額は八二萬四千圓我國よりの輸入額は一一一五萬五千圓である。主に食料品、毛織物、茶等を輸入してゐる。次に最も重大關心すべき點は布味に占める日本人の人口である。

布輸入者別人口 (一九三二、七、三〇現在)

布 味 人
コウカシヤ系布味人
アジア系布味人
ポルトガル人
ブルト、リコ人

二二、二三〇
一七、〇五六
一四、四五九
二八、五九五
七、〇〇〇

スペイン人	一、二五三
他のコロンカサス人	四五、五一七
支那 人	二七、二三五
日本 人	一四六、一八九
朝鮮 人	六、六五三
ヒリッピン人	六五、五一五
其 他	八〇五
計	三八〇、五〇七

(註) 一九三八年度外務省調査によれば布哇在住邦人は一五一、九五〇人である。

布島が將來我國に對して如何なる役目を果すか？ それは別として總人口の四割も占めてゐることは實々に力強き何物かを抱かしめるのである。しかし彼等がその多くは農業者又は労働者にして現在は政治的關係に直接影響はないにしても將來この方面の活動は期待されるのである。尙此の七編は全く歐洲戰前發以前に書いたもので、時局の核心に觸れてゐない處が多々ある様であるが、しかし、私の豫想が一年數ヶ月の後の激しい國際政治變動にも不拘處々に適中してゐるのを讀者も發見するであらう。それ故敢てこれを留めて置いた譯であるが尙それ丈に淺く、何物か食ひ足らぬ様な感が多分にある、これは時局が既に急進した爲めと、小生の不勉強の結果である。

深く諸士にお詫びすると共に後日完成を期したいと思つてゐる。

- (1) Rupert, Emerson *The Dutch East Indies adrift, in the Foreign affairs* July 1940
- (2) *Indian Constitutional Reform supplements, the Economist* Feb, 1935
- (3) 東亞研究所、三吉朋十氏、比律賓の民族
- (4) Grayson, L. Kirk "Philippine Independence" motives, Problems, and Prospects. New York 1936
- (5) Pio, Duran.
Philippine Independence and the far eastern question manila community Press 1935
- (6) Russell, E. Hall: *Outposts of Empire in the southern Pacific Far Eastern Survey* Feb, 1938
- (7) Alexander Kirnely *The armed strength of the united states in the Pacific, Pacific Affairs* May 1938
- (8) 「海を越て」五月號、永丘智太郎氏、布哇の人種より

昭和十五年十一月二十七日印刷
昭和十五年十二月二日發行



支那商業政策論

定價二圓二十錢
外地二圓四十二錢

著者 關文雄

發行者 東京市神田區小川町二ノ一〇
高野好生

印刷者 東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二
中山文雄

發行所 東京市神田區小川町二ノ一〇
高山書院

電話神田八一〇番
振替東京八三八九三番

自働車部隊

佐藤觀次郎著

行程三萬八千軒！
命を賭して大陸を
い動軍部隊の、明
るく飾り気な自

四六判四六〇頁
定價 二・五〇
千・一四

新支那讀本

事變の過程、支那の現状、及
あは、將來への道を探究した本
ある。各家庭に備へられたし

四六判四〇〇頁
定價 一・八〇
千・一四

支那通史

最も支那に於ける五十年の歩
史。支那の歴史を、面白く有益な
物である。面白く有益な讀

四六判三六〇頁
定價 一・八〇
千・一〇

大帮の都上海

白人の野望と東洋の希望が渦
巻く。上海！上海！大帮とは一獲
千金の夢を見ても、上海に集

四六判三七〇頁
定價 一・四〇
千・一〇

支那で成功する道

支那に於ける商業の発展を
支那人は、彼等が一人が語る支
業論。彼等が一人が語る支那商

四六判三〇〇頁
定價 一・五〇
千・一〇

大陸インフレの話

大陸經濟の問題は、もとより
大陸國民の關心を抱くとこ
それを啓示する。何か本書は

四六判二三〇頁
定價 一・二〇
千・一〇

飯澤章治著

南方共榮圈

まづ南方を知れ！ 兵處に現
下の共榮圈の確立は、新東亞建
設の礎である。

四六判三一〇頁
定價 一・六〇
千・一〇

動く大南洋の實相

現在身を以て南方問題解決に
奮闘する諸氏の、經驗と、抱
負と、信念を披露せる得難い

四六判三二四頁
定價 一・三〇
千・一〇

大戦と日本の進路

本國は必ず参戦する。その時
が空々の日本參戰論を、著者
投ずる日本參戰論。

四六判五一〇頁
定價 二・三〇
千・一四

岩淵辰雄著

現代日本の政治を縱横に論評
せる本書は、民間から新發調
彈だ。投ぜられた一個の照

四六判四六〇頁
定價 二・〇〇
千・一四

山浦貫一著

新體制運動の先達者近衛公を
映した人物。冷徹な著者の眼
説を讀む如き感ある。利益な小

四六判三五〇頁
定價 一・七〇
千・一〇

近衛時代の人物

明治以後の雄大な發展過程に
帝國議會の残した足跡は大き

高山叢書
定價 二・八〇
千・一五〇〇

帝國議會の歴史と本質

明治以後の雄大な發展過程に
帝國議會の残した足跡は大き

高山叢書
定價 二・八〇
千・一五〇〇

ルードウィヒ・グライン著 菅原 孝譯
或る獨逸間諜の手記

同盟通信社調査部編

國 際 宣 傳 戰

ヘーランド・フスラエール著 小松孝彰譯
宣傳技術と歐洲大戰

菅井 近男著

闘 ぶ ヒ ッ ト ラ ー

日本大學教授 百々巳之助著

英 國 亡 ぶ か

菊地 甚一著

女 性 犯 罪 の 諸 相

祖國愛に燃えて彼等は如何に戦つたか？ スバイの活動こそ近代戦の裏面史である。 四六判三七〇頁 定價 一・八〇

凡そ宣傳には文字通り無数の方法がある。それを豊富に好著で探つて精細に研究した好著である。 四六判三三〇頁 定價 一・六〇

著者は尅大な資料を用ひて、歐洲大戰に行はれた宣傳のあらゆる相を網羅した。 四六判二八〇頁 定價 一・五〇

世紀の巨人ヒットラーは如何にして現在の位置を築得したか？ 何時の世にも興味あるものは英雄の傳記だ。 四六判二四〇頁 定價 一・三〇

この標題に掲げられた文字は現在の最も深刻な疑問の一つである。來つて英國の興廢を知れ！ 四六判二四〇頁 定價 一・二〇

著者は多年司法官囑託書を読められ、数多の犯罪者に接した。女性犯罪者の精神を鑑定して來た。女性犯罪者の奇怪な告白 四六判二七〇頁 定價 一・四〇

C. Q. 40-11

NO. 618

